

1. 令和4年度全国学力・学習状況調査結果報告(速報)

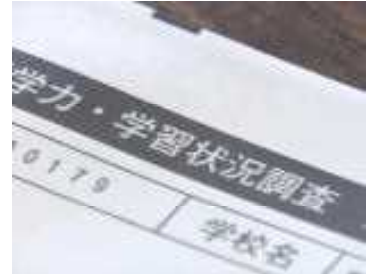
6年生を対象に、令和4年4月19日(火)に行われた「令和4年度全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

(1) 児童に対する調査

① 学力に関する調査

【国語・算数・理科】※それぞれ45分

- 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていくことが望ましい知識・技能など
 - 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容
- 上記2点を一体的に問う



② 学習状況に関する調査(児童質問紙)※40分(20分程度の分量)

- 小学校第6学年の児童対象の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

(2) 調査結果について

① 学力に関する調査結果(平均正答率(%))について

国語は、全国平均とほぼ同じでした。

算数は、全国平均より少し下回りました。

理科は、全国平均より少し下回りました。

領域別に見てみます。

国語では、

○思考力、判断力、表現力等

- ・「話すこと・聞くこと」が上回りました。(＋4.9ポイント)
- ・「書くこと」が少し下回りました。(－3.3ポイント)
- ・「読むこと」は同じでした。(±0ポイント)

○知識及び技能

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」が少し下回りました。(－2.0ポイント)
- ・「我が国の言語文化に関する事項」が少し下回りました。(－2.0ポイント)

算数では、

- ・「数と計算」が少し下回りました。(－2.9ポイント)
- ・「図形」が少し上回りました。(＋1.1ポイント)
- ・「変化と関係」が少し下回りました。(－2.2ポイント)
- ・「データの活用」が少し下回りました。(－1.6ポイント)

理科では、

- ・「エネルギーを柱とする領域」が少し上回りました。(＋0.8ポイント)
- ・「粒子を柱とする領域」がほぼ同じでした。(－0.4ポイント)
- ・「生命を柱とする領域」が少し下回りました。(－1.0ポイント)
- ・「地球を柱とする領域」が下回りました。(－4.8ポイント)

※平均正答率だけに一喜一憂するのではなく、内容を分析し、子どもたちのさらなる学力向上へ向けて具体的方策を考え、取り組んでまいります。ご家庭とも連携して進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞご協力よろしくお願いたします。